

## 地域の皆さんの交流の場に ～サロンかづかの会開催～

12月20日（火）、東蚊塚公民館でサロンかづかの会が行われました。

サロンは高齢者の集まる場として町内の各区に設けられ、かづかの会で7か所目となります。

今回が初開催となる同会では、岐阜ハートセンターの富田伸司副院長を講師にお招きし、心臓病についての講演を聞きました。

また、参加者らはクリスマス会として軽食を楽しみながら交流しました。



▲心臓病予防についての講演を聞きました

## 新年に向けてしめ縄とリース作成 ～名森フェスティバル～

12月11日（日）、名森小学校体育館で名森フェスティバルが行われました。名森地区の子どもを対象に地域交流を目的としています。

しめ縄やリース作りの講習が行われたほか、梅干し飛ばし大会やフリスビー飛ばし、輪投げなどの遊戯ブースが設けられました。

また、つきたてのおもちやうどんが参加者にふるまわれ、思いっきり体を動かした子どもたちは嬉しそうに頬張っていました。



▲皆で楽しくしめ縄作りをしました

## 税金の大切さを学びました ～各小学校で租税教室～

各小学校の6年生児童を対象とした租税教室が行われました。結小学校では、1月12日（木）に町税務課の職員が同小を訪れ、税金についての授業をしました。

税金のない世界はどのようになってしまうかのアニメを見た児童は、ゴミの収集や道路、橋の整備がされない世界を見て税金の大切さを知りました。

また、レプリカの1億円に触れる機会もあり、その重さに児童らは驚いていました。



▲1億円の重みを体感しました

## 音楽で平和な世界を ～津村方水防倉庫にステンシルアート～

安八町出身のストリートアーティストの小川亮さんが西結（津村方）の水防倉庫に新たなステンシルアートを描かれました。

ステンシルアートとは形を切りぬいた型紙の上からスプレーを吹き付け絵を描いていく手法です。

本作品のテーマは『最終兵器』で、世界中の子どもたちが手に持つのは武器ではなく、楽器であってほしいという世界平和の願いが込められています。



▲水防倉庫の壁面に描かれた巨大アート